
高校を核とした新たな人づくり・流れづくりプロジェクト

ーデジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）ー

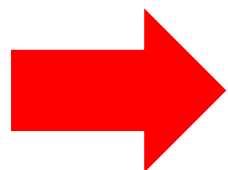
高校を核とした新たな人づくり・流れづくりプロジェクト

○目指す将来像 ～中学卒業段階で地方への高校進学を日本の当たり前にする～

- ・右肩上がりの経済成長を続ける社会から、先行きの見えない時代へ社会は想像をはるかに超えるスピードで変化している。こうした時代を生きてゆくこれからの子どもたちには、自分たちの力で未来をきりひらいていこうとする強い意志が求められている。
- ・そのためには、社会への感度があがる高校時代にどれだけ社会と接する機会を持ち、自分の意志で挑戦を続け、自分の手で未来をつくる原体験を積み上げることが重要である。
- ・人口減少、過疎化、高齢化などにより、人・物・金がないなど課題先進地である地方には、自分ごととして課題解決に挑戦できる機会が日常の中に溢れている。また、親や先生以外の地域の様々な大人たちに囲まれ、ともに挑戦することを通して切磋琢磨できる機会も多い。
- ・多くの課題を抱えた地方という世界の先進地で、立場や世代を超えた多様な人々と、実社会の縮図体験となる高校3年間で過ごせるよう、地域と高校の協働による魅力ある教育環境づくりに取り組むことが大切である。

○今後のビジョン

- ・こうした取組の情報を都市部へ届けるために、(一財)地域・教育魅力化プラットフォームが主催する「地域みらい留学」等を通じて、全国各地で、高校を核とした地方創生の取組を自治体同士で連携して、一体となってプロジェクトを推進することで、全国の大きなうねりにつなげる。
- ・また、中学以前の取組や高校卒業後の取組を加え深化・高度化させたプロジェクトを、全国の自治体間で共学共創することで全国・海外へスケールアウト(拡散・増殖)させ、高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりを実現させる。



本市からは川辺高校，薩南工業高校が地域みらい留学に参画！

高校を核とした新たな人づくり・流れづくりプロジェクト

○事業概要(南九州市で取り組んでいる事業)

1. 地方の魅力的な教育環境を全国の先駆的な自治体と一体となって都市部へ届けることで、地域の高校留学という選択肢を作る

地方の高校進学推進に向けて、都市部の学校への網羅的なチラシ配布・WEB広告・メディア掲載・学習塾ネットワークへの告知・地域留学卒業生及び保護者からの口コミ等によるプロモーションを実施。
さらなる興味喚起に向けて、都市部において、中学生親子が全国の地域留学在校生・卒業生・保護者の生の声を聞くことができる全国合同説明会を開催する。

事業名	概要
都市部等で中学生親子に向けた合同説明会「地域みらい留学フェスタ」を開催	(一財)地域・教育魅力化プラットフォームが東京、大阪、名古屋、福岡で開催する「地域みらい留学フェスタ」への開催負担金等

2. 高校と地域の協働により魅力ある教育環境をつくる

公教育の場へ多様なセクターの参入を積極的に促し、「高校と地域の協働による魅力ある教育環境づくり」を展開する。
地域で挑戦する子どもたちの裾野を中学以前まで広げ、高校時代の取組にしっかりと接続させる。
あわせて、こうした取組を推進する教員の時間の確保や地域外生徒の受入環境の整備などプロジェクト推進を支える環境を整える。

事業名	概要
地域と高校をつなぐことに特化した人材や専門スキル・ノウハウを持つNPO法人等を「魅力化コーディネーター」として育成・配置	「魅力化コーディネーター」とは、高校における教育や教育環境をより魅力あるものとするため、学校内と学校外をつなぎ、効果的な学習活動を創出する役割を担う者の採用・育成・研修経費

高校を核とした新たな人づくり・流れづくりプロジェクト

OKPI(重要業績評価指標)のまとめ

(一財)地域・教育魅力化プラットフォームより

項 目	令和6年度	
	目標値	実績値
「高校を核とした関係人口」の数 (地域みらい留学生生徒数＋卒業後も地元に関わった大学生・社会人数＋ 地域外からの高校への応援者数) (人)	819	819
「都市部での地方高校全国説明会」参加者数 (人)	567	567
「地域課題解決学習全国大会」エントリープロジェクト件数 (件数)	264	264
「共学共創ネットワーク」参加自治体・学校数 (団体)	10	10

※(一財)地域・教育魅力化プラットフォームによるKPIの設定となっているため、全国を想定した数値設定となっている。
また、本事業による計画期間について令和6年度が最終年度となっており、実績値について正確な把握がまだ行えていないとのこと。

〇昨年度の評価と今後の本市における展望

令和8年度から地域みらい留学における新規入学者の確保に向けて取組みを進めており、昨年度は初年度ということで(一財)地域・教育魅力化プラットフォームや他自治体の取組み等を参考にしながら、地域魅力化コーディネーターとして採用した地域おこし協力隊員と協力して中学生を対象とした都市部で実施された対面説明会やオンラインによる説明会等に参加し、高校や地域の魅力を全国に向けてPRしてきた。

今後について、昨年度の経験をもとに高校の地域とのつながりや特色ある学科など、PRポイントを明確化して新規入学者確保に向けた取組をより一層進めていきたいと考えており、本事業を通した本市の魅力発信を合わせて行っていきたいと考えている。